

平成30（2018）年度 事業報告書



インカレ・トラック・伊豆ベロドローム



インカレ・女子総合表彰



インカレ男女の優勝者に
高木秀彰賞が授与される



インカレ・ロード・長野県大町市美麻地区



JICF国際トラックカップ
長野県松本市
美鈴湖自転車競技場



東海道どまん中 袋井ラウンド（静岡県）



明治神宮外苑大学クリテリウム

日本学生自転車競技連盟
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



1 はじめに

平成30年度（2018年度）はオリンピック種目であるトラックのオムニウム・マディソンをインカレ種目として実施、前年に初開催された全日本学生選手権オムニウム大会はUCIポイント対象国際大会との併催により海外選手を交えた高い競技レベルの中で学生選手権者を決定するスタイルに移行するなど、国際大会への派遣選手育成という本連盟結成の原点に立ち返った施策がいくつか行われました。

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズは年間ラウンド数が12程度で推移していますが、新ラウンドとして静岡県袋井市の協力により「東海道どまん中 袋井ラウンド」をエコパ周辺で実施しました。

全日本学生トラック・レース・シリーズは、トラック・ロード双方におけるスピード面での強化に貢献しています。本連盟主催UCIカレンダー登録トラック国際大会であるJICF国際トラックカップも継続して5回目を迎えました。

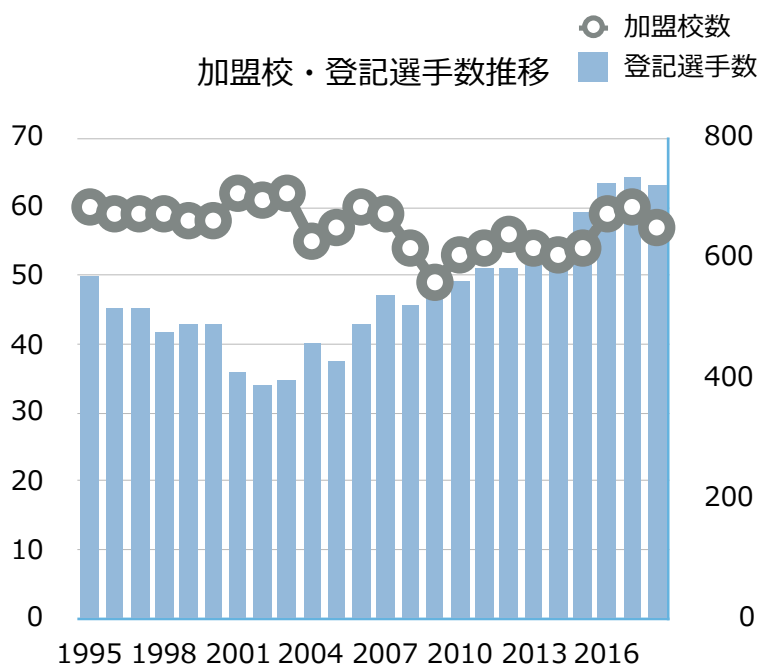
普及啓発活動においては、警視庁と連携した「モデルサイクリスト事業」の実施による交通安全プロモーションを前年に引き続いて推進したほか、改めて加盟校に安全走行に関する注意喚起を行ってきました。

2 加盟校数・登録選手数等の推移

2018年度は加盟校数57で微減、登録選手数は女子がはじめて40人台に突入したものの、男子が減少して合計721名と前年対比16名の減少、ここ10数年続いてきた増加傾向が頭打ちを迎えたことを示しています。近い将来に100校・1000名を目標としてきたところではありますが、加盟校数は60の壁をなかなか乗り越えられない状況が続いており、引き続き加盟校・登録選手増加に向けた努力が必要であります。

また、審判員登録は80名、チームアテンダント登録は13名（講習会受講は37名）となりました。

（JCF登録競技者数：8,949名/2019年3月、JCF審判員登録2595人、チームアテンダント1723人）



西暦	平成	加盟校	男子選手	女子選手	選手計	評議員	賛助会員	審判登録	アテンダント
1995	7	60			570	264		140	
1996	8	59			517	270		114	
1997	9	59	479	38	517	261			
1998	10	59	441	34	475	270			
1999	11	58	461	31	492	278	83	135	
2000	12	58	449	31	490		81	180	
2001	13	62			412	317	85	176	
2002	14	61			386	323	79	151	
2003	15	62			397	323	110	148	
2004	16	55	429	32	461	323	99	133	
2005	17	57	395	33	428	323	76	144	
2006	18	60	469	23	492	349	89	161	
2007	19	59	505	33	538	351	88	154	
2008	20	54	498	22	520	326	83	128	
2009	21	49	521	25	546	328	77	125	
2010	22	53	531	30	561	355	59	121	
2011	23	54	552	30	582	354	63	92	
2012	24	56	552	33	585	354	61	98	
2013	25	54	555	31	586	357	66	90	
2014	26	53	559	36	595	352	60	100	
2015	27	54	643	35	678	352	82	123	
2016	28	59	692	36	727	353	68	118	
2017	29	60	698	39	737	353	68	110	43
2018	30	57	679	42	721	377	79	80	13

東日本（静岡・長野・新潟以東）

CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計
1	北海道	北見工業大学				0
		札幌学院大学				0
		北海道大学	1	9	0	9
		室蘭工業大学				0
		北海商科大学				0
		北海道科学大学				0
2	青森	八戸大学				0
		八戸工業大学				0
		八戸学院大学	1	4	4	8
3	岩手	富士大学	1	2	0	2
4	宮城	東北学院大学	1	14	0	14
5	秋田					0
6	山形	山形大学				0
		東北芸術工科大学				0
7	福島					0
8	茨城	筑波大学	1	8	0	8
		流通経済大学				0
9	栃木	宇都宮大学				0
		作新学院大学	1	11	0	11
10	群馬	高崎経済大学	1	3	0	3
11	埼玉	獨協大学				0
		駿河台大学				0
		立正大学				0
12	千葉	順天堂大学	1	7	5	12
		中央学院大学				0
		明海大学				0
		木更津工業専門学校				0
13	東京	学習院大学	1	5	0	5
		慶應義塾大学	1	17	1	18
		駒澤大学	1	11	0	11
		芝浦工業大学				0
		首都大学東京	1	1	1	2
		成蹊大学	1	14	0	14
		大東文化大学	1	2	0	2
		中央大学	1	18	0	18
		東京大学	1	18	1	19
		東京工業大学	1	10	0	10
		東都医療大学				0
		東洋大学	1	15	0	15
		二松学舎大学				0
		日本大学	1	56	0	56
		一橋大学				0
		法政大学	1	26	1	27
		明治大学	1	18	0	18
		明星大学	1	19	0	19
		立教大学	1	13	0	13
		早稲田大学	1	13	3	16
14	神奈川	神奈川工科大学	1	6	0	6
		東海大学	1	22	0	22
		日本体育大学	1	22	5	27
		防衛大学校	1	11	0	11
		明治学院大学	1	5	1	6
15	新潟	新潟大学	1	11	3	14
		新潟食料農業大学	1	2	0	2
16	山梨	山梨学院大学	1	4	1	5
17	長野	信州大学	1	19	1	20
		長野大学	1	1	0	1
		松本大学				0
18	静岡					0
東日本小計			34	417	27	444

西日本

CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計
19	富山					0
20	石川	北陸大学	1	1	0	1
18	福井					0
21	岐阜	朝日大学	1	52	1	53
23	愛知	星城大学				0
		愛知産業大学				0
		中京大学	1	3	0	3
		名古屋産業大学				0
		南山大学	1	0	1	1
24	三重					0
25	滋賀					0
26	京都	京都大学	1	18	0	18
		京都産業大学	1	14	1	15
		京都府立医科大学	1	1	0	1
		同志社大学	1	15	2	17
		立命館大学	1	12	1	13
		龍谷大学	1	10	0	10
27	大阪	大阪大学	1	5	0	5
		大阪経済大学	1	23	2	25
		大阪工業大学	1	7	0	7
		大阪産業大学	1	24	1	25
		大阪市立大学	1	1	0	1
		大阪府立大学				0
		追手門学院大学				0
		関西大学	1	15	0	15
		摂南大学				0
28	兵庫	神戸大学	1	6	0	6
		関西学院大学	1	13	0	13
29	奈良					0
30	和歌山					0
31	鳥取	鳥取大学				0
32	島根					0
33	岡山	岡山大学	1	6	0	6
		環太平洋大学				0
34	広島					0
35	山口					0
36	徳島	徳島大学	1	3	0	3
37	香川					0
38	愛媛	松山大学				0
		愛媛大学				0
39	高知	高知工科大学				0
40	福岡	福岡工業大学				0
		久留米大学	1	6	0	6
41	佐賀					0
42	長崎					0
43	熊本					0
44	大分	大分大学				0
45	宮崎	宮崎大学	1	5	0	5
46	鹿児島	鹿児島体育大学	1	22	6	28
47	沖縄	名桜大学				0
		沖縄国際大学				0
西日本小計			23	262	15	277

全国合計

57	679	42	721
校	男子	女子	合計

3 大会の実施と参加者の推移

本年度事業日程に則り、下記の通り諸大会が実施されました。大会等当連盟主催事業への参加者数のべ人数は昨年の6783名から6855名へと、微増となりました。年間を通じた大会数・参加機会の確保は競技活動の基本であり、引き続き各都道府県連盟や地方自治体との連携、協賛企業の協力を仰ぎつつ、競技参加機会確保につとめ、同時に開催地域における自転車競技振興への寄与を図っていく必要があります。

平成30（2018）年度 日本学生自転車競技連盟 事業実績報告												v20190616
月	日	曜日	大会名等									
			学連主催選手権大会等									
			全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ									
			全日本学生トラックレース・シリーズ									
			後援・代表派遣大会、会議等									
				種別	当番校・主催	男子	女子	OPEN	合計	動員数	参加者数 (団体数)	開催場所
4	7-8	土・日	全日本学生TRS第1戦	トラック	強化員及委員等	163	11	2	176	200	200	25 静岡県、日本CSC 250m屋内トラック
4	14	土	第1回理事会・2018年度大会要項等説明会	会議								東京都渋谷区
4	21-22	土・日	全日本学生RCS第1戦 第12回菜の花飯山ラウンド(クリテリウム)	ロード	実行委員会	217	1	6	224	300	300	長野県飯山市
			同上第2日	ロード	実行委員会	217	1	6	224	300	300	長野県飯山市
4	28	土	第20回 全日本学生選手権クリテリウム大会	ロード	西日本	160	7	-	167	200	200	30 兵庫県東近江市ふれあい公園
5	4	金・祝	マディソン走行講習会・記録会	トラック	強化員及委員等				-	30		長野県松本市、美鈴湖自転車競技場
5	5	土	モテルサイクリスト・監視庁キャンペーン	街頭								東京都・銀座
5	5-6	土・日	第58回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	東京・順天堂	186	15	-	201	300	300	30 長野県松本市、美鈴湖自転車競技場
			同上第2日	トラック	東京・順天堂	186	15	-	201	300	300	30 同上
5	5-6	土・日	第38回 西日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	西日本	113	4	-	117	150	200	30 徳島県・小松島競輪場
			同上第2日	トラック	西日本	113	4	-	117	150		30 同上
5	19	土	全日本学生TRS第2戦	トラック	強化員及委員等	182	12	1	195	200	550	25 長野県松本市、美鈴湖自転車競技場
5	19-20	土・日	全日本学生RCS第2戦 第20回修善寺オープンロード+女子オープンロード	ロード	早稲田		11	3	14	300		30 静岡県、日本CSC 250m屋内トラック
			同上第2日	ロード	早稲田	230	11	11	252	300		30 静岡県、日本CSC 5kmサーキット
5	26-27	土・日	全日本学生RCS第3戦 京都美山ラウンド（土：クラス3 TT, 日：クラス	ロード	西日本	32	2	-	34	89	100	20 京都府南丹市美山町
			同上第2日	ロード	西日本	87	2	-	89	89		20 同上
6	2	土	第57回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会	ロード	法政	132	-	-	-	300	500	115 埼玉県加須市、羽生市 利根川河川敷
6	3	日	全日本学生選手権 第30回全日本学生個人ロードTT自転車競技大会	ロード	法政	152	6	7	165	300		65 埼玉県加須市、羽生市 利根川河川敷
6	10	日	第34回 全日本学生選手権個人ロードレース大会	ロード	明治・朝日	142	9	1	152	250	250	50 静岡県、日本CSC 5kmサーキット
6	16	土	第1回評議員会/第2回理事会	会議								東京渋谷・摩訶池体育会館
6	30-7/1	土・日	第59回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会	トラック	中京・東洋・豊原	234	20	-	254	350	400	60 福岡県、泉崎国際サイクルスタジアム
			同上第2日	トラック	中京・東洋・豊原	234	20	-	254	350		60 同上
7	14-15	土・日	JICF INTERNATIONAL TRACK CUP&第2回全日本学生選手権オムニア	トラック	立教	233	21	52	306	500	400	30 長野県、松本市美鈴湖自転車競技場
			同上第2日	トラック	立教	233	21	52	306	500		30 同上
7	16	祝	全日本学生TRS第3戦	トラック	東京	148	-	58	206	300		30 長野県、松本市美鈴湖自転車競技場
7	21	土	チームアテンダント講習会	会議	審判委員会							東京・浜松町
7	21	土	全日本学生RCS普及大会 草津ナイトレース	ロード		68	-	-	68	200	100	
7	28-29	土・日	全日本学生RCS第4戦・第13回 白馬クリテリウムラウンド	ロード		239	1	4	244	600	200	30 長野県、白馬町特設サーキット
			同上第2日	ロード		239	1	4	244	600		30 同上
8	4-5		西日本大学対抗自転車競技大会	トラック	東京	47	2	-	49	140	100	25 大阪府・岸和田競輪場
			同上第2日	トラック		47	2	-	49	140		25 同上
8	17-19	金～日	文部科学大臣杯 第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	トラック	日本	232	29	-	261	500		50 静岡県、日本CSC 250m屋内トラック
			同上第2日	トラック	日本	143	29	-	172	500		50 同上
			同上第3日	トラック	日本	145	29	-	174	500	800	50 同上
8	19	日	第3回理事会	会議								静岡県、日本CSC
9	2	日	文部科学大臣杯 第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	ロード	日本	194	23	-	217	550		50 長野県、大町美馬地区
9	6-21		欧州遠征事業	ロード								中止
9	9	日	全日本学生RCS第5戦・山形村ヒルクライムラウンド	ロード	審判委員会	45	-	11	56	150	150	20 長野県山形村
9	17	祝	全日本学生RCS第6戦 けいはんなサイクルロードレース	ロード	西日本	98	-	-	98	300	200	30 京都府木津川市
9	24	月・祝	全日本学生RCS第7戦 東海道のまんが 袋井ラウンド	ロード	東海	96	-	1	97	270	200	40 静岡県袋井市、エコパ
10	27	土	全日本学生RCS第8戦・大島三原山ヒルクライムラウンド	ロード	審判委員会	17	-	-	17	150	50	25 東京都・大島町
10	28	日	第55回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会	トラック	西日本	105	4	-	109	120	150	35 大阪府・岸和田競輪場
10	28	日	第55回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会	トラック	鷹斗・日体	120	11	-	131	200	220	30 山梨県・旗川自転車競技場
11	10	土	東京六大学対抗自転車競技大会	トラック		67	2	-	69	150	100	25 市武蔵競輪場
11	18	日	全日本学生RCS第9戦・浮城のまち行田クリテリウムラウンド	ロード	審判委員会	224	-	-	224	300	300	85 埼玉県行田市、運動公園南
11	25	日	第4回理事会・チームコーチ、アンチドーピング研修会	会議								東京渋谷・摩訶池体育会館
12	2	日	全日本学生TRS第4戦	トラック	強化員及委員等	126	5	2	133	200	200	35 静岡県、日本CSC 250m屋内トラック
12	9	日	全日本学生RCS第10戦・埼玉ステーション第1ラウンド	ロード	審判委員会	159	-	-	159	200	200	40 埼玉県草市市
2019年												
1	13	日	全日本学生RCS第11戦・埼玉ステーション第2ラウンド	ロード	審判委員会	86	-	-	86	180	200	35 埼玉県・川島町 小野院コース
1	19	土	第5回理事会	会議								東京・目黒
1	20	日	全日本学生TRS第5戦	トラック	強化員及委員等	94	3	1	98	200	200	30 静岡県、日本CSC 250m屋内トラック
2	17	日	全日本学生RCS第12戦・埼玉ステーション第3ラウンド	ロード	審判委員会	120	-	-	120	200	200	30 埼玉県・川島町 役場前コース
3	3-10		欧州/オーストラリア合宿派遣事業（仮称）		強化員及委員等							オーストラリア
3	2	土	第6回理事会	会議								東京・目黒
3	2	土	第2回評議員会	会議								東京・目黒
3	9	土	大学自転車フォーラム・大会要項説明会	会議								東京・代々木石神記念青少年センター
3	10	日	全日本学生RCS最終戦・第13回明治神宮外苑大学クリテリウム	ロード		249	13	46	308	12,000	800	150 東京都・明治神宮外苑
3	22	金	全日本学生RCS第オープン戦・ときぎタイムトライアル	ロード	審判委員会	18	-	-	18	450	150	4 栃木県真岡市并崎公園
			凡例：RCS:ロードレースカップ・シリーズ、TRS:トラックレースシリーズ、			6,372	347	268	6,855	24,558	7,920	1,724 日本学生自転車競技連盟

4 選手権大会の開催

・全日本大学対抗（インカレ）：

静岡県伊豆市IZUベロドローム（屋内250m）で8月17－19日にトラックを、9月2日に長野県大町市美麻地区でロードレースを開催。

総合成績は、男子は日本大学、女子は日本体育大学が優勝しました。近年の競技力向上の成果もあり、多くの大会新記録と学連新記録が達成され、近年の学生競技者の競技水準向上が感じられる大会となりました。

アジア大会に出場する選手がインカレにも出場できるように配慮しつつ、トラック・ロードともに本格的会場での競技会開催を念頭においた設定で行われました。トラックとロードの会場が都道府県をまたがって広域で開催されるのは、2004年の滋賀県大津競輪場（トラック）と京都府美山（ロード）、1994年の前橋競輪場（トラック）と宇都宮（ロード）、1972年の後楽園（トラック）と富士スピードウェイ（ロード）などの前例があります。

・全日本学生選手権個人ロードレース大会：

例年の会場である長野県木曽郡木祖村コースの道路損壊により、本年は静岡県伊豆市日本サイクルスポーツセンター5kmサーキットで実施されました。女子は福田咲絵（慶應義塾大学）、男子は石井駿平（鹿屋体育大学）が優勝しました。

・全日本学生選手権トラック大会：

福島県泉崎村、泉崎国際サイクルスタジアム（屋外333m）で開催されました。

・チームロード選手権：

前年に引き続き埼玉県加須市・羽生市の利根川河川敷にて開催されました。走路幅が狭い等の弱点があるものの、首都圏からのアクセスに優れ多くの観客・応援者がかけつけました。スタート・フィニッシュ地点は昨年に引き続き「おおとね童謡のふるさと室」で、補給地点を折返し近傍に設置され、上位8チームには車輪サポート用オートバイの伴走が用意されました。中央大学が優勝しました。

・個人ロードタイムトライアル選手権：

永年に亘り普及大会として行われてきた個人ロードタイムトライアルですが、世界選手権・オリンピックでも主要種目として位置づけられ、日本人は不得意とされているものの、素の実力を計り強化の基本となる種目であるという重要性に鑑み、選手権大会として位置づけられることとなりました。またタイムトライアルの特性として、オープン参加を取り入れても選手権者の決定に影響が出にくく、パラサイクリストなどへ門戸を開く方針で実施されています。

・全日本学生クリテリウム選手権：滋賀県東近江市で開催されました。

・東西学生選手権トラック：

東西共に2日間開催として開催されました。東日本は長野県松本市美鈴湖自転車競技場で、西日本は徳島県・小松島競輪場で開催されました。

5 強化・普及大会の開催

・全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ

シリーズ戦は2005年度2戦を皮切りに現在は12戦程度が行われ、明治神宮外苑大学クリテリウムを最終戦とするスタイルが定着しています。各地の都道府県連盟と連携して企画され、学生競技者の大会参加機会増大・地域における自転車競技活性化の両面において一定の成果をあげ、選手権大会の参加資格を持たない選手にとっては参加資格を得る機会数の増大、すでに参加資格を持っている選手にとっては実戦レースに於ける技量の高揚の効果があり、近年の新規加盟校・新規登録選手の増大にも寄与していると考えられます。当年度は、第7ラウンドとして9月に「東海道どまん中 袋井ラウンド」が袋井市の支援のもと新たに実施されました。「明治神宮外苑大学クリテリウム」は13回目を迎え、オーストラリア・メルボルン大学チームが参戦して積極的なレースが行われ、多くの観客の皆様がお越しになりました。

・ロードカテゴリ制

ロード選手のカテゴリを実力別にクラス1, 2, 3, に分類し、選手権大会の参加資格者が決まる制度も定着してきました。これにより、本戦参加時までのレース経験度が上がり、選手権大会の安全性・競技レベルが向上しつつあると考えられます。クラス2の層の厚みが増したため、選手権大会でのエントリー資格はクラス

2に限られるようになりました。クラス3は実力差の幅が広がりつつあり、特に春先の飯山ラウンドなどにおいてスキルアップ講習などの対応を行っています。

・全日本学生トラック・レース・シリーズ

ポイントレースなど競走系種目の実戦経験レベル向上を目指して開始されたTRSも、参加資格取得のための記録会的性格も備えて参加者も増え、定着してきました。近年の選手権大会での大会新記録・学連新記録の続出に寄与して成果をあげていると考えられます。

6 国際大会の開催・参加

2016年から長野県松本市で実施してきている「JICF国際トラックカップ」は、UCIカレンダー登録クラス2の大会としてUCIポイントが獲得可能な大会で、トラックレースシリーズと併行開催することにより、学生がUCIポイントを獲得するチャンスをより広く確保することに貢献しています。

・日韓学生対抗自転車競技大会は終了し、外苑クリテリウムへの韓国大学チームの招待、JICF国際トラックカップを通じて引き続き日韓学生の交流を図ってきています。

7 会議・事業運営

本年度役員により運営されました。大会準備会合は毎週水曜日夜の定例会議を中心に進められました。日程に従い評議員会、理事会、委員会等を開催しました。

各大会の準備および当日の運営にあたっては、当番校からの学生委員も前年より多数の参加が得られるようになり、自分達ならびに後輩の走る機会を自ら確保する、という運営形態をより強固なものとしつつあります。参加者数に応じて競技役員を供出する運営方式の適用大会を上げたことにより、通年執務の学生委員の負担を平準化することができたほか、参加校学生にとっても運営面にかかわり競技に関する視野を広げるチャンスになっています。

8 高木秀彰賞の創設

本連盟加盟校出身でインカレ等の大会で永年、大会の写真撮影でお世話になってきた故高木秀彰氏のご遺族の申し出を受け、インカレロードレースの男・女各々の優勝者のチームに、本年度から10年間にわたり「高木秀彰賞」が授与されることとなりました。

9 むすび

加盟校数・登録選手数など裾野の拡大は、一進一退を経ながらもゆるやかに進行してきましたが、ここへきて頭打ちになってきた感があります。海外における大会での本連盟学生選手ならびに本連盟出身選手の活躍も活発化しつつありますが、日本を代表する選手の育成に引き続き努力が必要なところです。

シリーズ戦の地方開催など、自転車競技の普及発展にも一定の成果を上げ、それがインカレへの注目度の高まりにも貢献し、継続可能な体制に向けて事務局運営の見直し、学生委員・当番校制度の活性化が定着してきております。多くの関係者が連盟運営にかかわりつつ、適正コストで高度な運営が可能な体質獲得に向けて一層の努力を続けていくことが望まれところであります。

日本学生自転車競技連盟2018年度 最優秀選手

※トラック/ロード ランキング年間最上位者

トラック	男子	中野慎詞（早稲田大学）	鈴木陸来（法政大学）	坂本紘規（日本大学）（3名同点）
	女子	小泉夢菜（早稲田大学）		
ロード	男子	野本 空（明治大学）		
	女子	中富尚子（京都産業大学）		

全日本学生ロードレースカップシリーズ総合優勝： 孫崎大樹（早稲田大学）

令和元年6月16日 第1回評議員会承認資料

日本学生自転車競技連盟 JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
ジャパンスポーツオリムピックスクエア408-2
ホームページ : <https://jicf.info>
電子メール : jicf@remus.dti.ne.jp